

財 政 状 況 の 公 表

令和 4 年 10 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日



令和 **5** 年 **5** 月
宇 城 広 域 連 合

目 次

I 令和5年度当初予算の概要

1	予算編成方針（抜粋）	1
2	予算規模	4
3	一般会計の予算	
	（1）歳入	5
	（2）歳出	7
4	宇城ふるさと市町村圏基金特別会計の予算	
	（1）歳入	9
	（2）歳出	9

II 令和4年度下半期の補正予算状況

1	一般会計及び宇城ふるさと市町村圏基金特別会計の補正状況	10
---	-----------------------------	----

III 令和4年度下半期の予算執行状況

1	一般会計の予算執行状況	11
2	宇城ふるさと市町村圏基金特別会計の予算執行状況	12

IV 広域連合債及び一時借入金の状況

1	広域連合債の状況	13
2	一時借入金の状況	14

V 宇城広域連合財産の状況

1	土地、建物及び重要物品	15
2	基金	19

（注）各項目の計数は、表示単位未満を四捨五入したものであり、その内訳は、
合計と合致しないことがあります。

I 令和5年度当初予算の概要

1 予算編成方針（抜粋）

宇城広域連合の財政状況と見通し

本連合の財政状況を見ると、令和3年度一般会計決算において歳入では、汚泥再生処理センター更新事業に係る支出のピークが過ぎたことで関係市町からの「負担金（対前年度△4億2千万円）」や新たな借金である「広域連合債（対前年度△10億円）」は大幅な減額となったが、高機能消防指令設備整備事業など普通建設事業の繰越に伴う財源繰越や前年度決算剰余金の増加により「繰越金（対前年度＋2億1千万円）」が増額となった。

歳出では、任意に減らすことができない「義務的経費（人件費、扶助費及び公債費）」が前年度から4.6%増加し17億円となり、全体の38.6%を占めている。汚泥再生処理センター整備事業などの元金償還の開始に伴う公債費の増額が主な要因である。

また、広域連合債を財源とする消防本部・北消防署耐震改築整備事業（新庁舎建築工事、外構工事）やエネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業を進めた結果、「普通建設事業費」が前年度に引き続き性質別経費の中で最も高い構成割合（全体の37.0%）となった。

次年度は、エネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業が最終年を迎え、これまで進めてきた3施設の大型整備事業が一応の完成を見るが、旧施設の解体や消防署所の更新といった建設事業が今後も控えており、多額の臨時的経費の支出と地方債の借り入れの必要が続く見通しである。

歳入の約50%を関係市町等からの規約負担金が占めている本連合にとって、急激な予算の変動は市町の財政負担に与える影響が大きいことから、将来に向けてより一層健全な行財政運営を堅持するため、歳出の構造改革に取り組むとともに広域行政のメリットを最大化させていく必要がある。

令和5年度予算編成の基本方針

令和5年度の関係市町財政は、感染症に伴う地域経済の落ち込みがもたらす地方税の減収、そして国勢調査人口の減少が与える普通交付税への影響など、歳入面において厳しい状況が続くと予想される。

一方、歳出面では、急速に進行する高齢化等に伴う社会保障関連経費の充実と、老朽化が進む公共施設の改修・更新費用の増大、激甚化・頻発化する災害に対し防災・減災、国土強靱化を推進するほか、未だ収束が見えない感染症により新たな行財政需要への対応が求められることから、依然として厳しい状況が推察される。

本連合においては、令和2年3月に改定した『宇城ふるさと市町村圏計画』に基づき、着実に宇城管内の広域共同処理業務を行ってきたところである。また、人口減少や職員定数の削減など自治体を取り巻く環境が変化する中で、行政サービスを維持していくための広域連携は、地方創生を担う中核的な行政手法として、近年注目を集めている。

各課においては、今年度新たに策定した広域計画（期間＝令和4年度～8年度）に掲げられた分野ごとの方針や諸施策を着実に推進することはもとより、限られた財源を最大限有効に活用するため短期、中長期的な検証を徹底的に行うこととし、「選択と集中」を図ったうえで予算を見積もることとする。

また、本連合が抱える最重要課題には、創意工夫をもって積極的に取り組み、先進自治体等の参考とすべき事例や補助金等の活用を十分検討するとともに、事業効果の維持・向上、並びに行政コストの縮減に努めるものとする。

① 国、県及び関係市町との一体予算

国・県の予算編成の動向が現時点では不透明な状況ではあるが、法令や制度等の情報収集に努め、特に令和５年度の新規事業については、有利な財源を活用して計画的に取り組むこと。

また、規約負担金への影響を意識したうえで、関係市町とより緊密な連携を図り、適切な役割分担のもと機能的に事務処理を進めていくこと。

② 限られた経営資源の有効活用と行政経営の推進

本連合の財政状況を踏まえ、限られた経営資源（人材・資産・財源・情報）で効率的かつ効果的に事業へ取り組むとともに、後年度の財政負担にも配慮して施策の優先順位を明確化させるなど、徹底した施策・事業の重点化を図ること。

また、各部署におかれては、事業の評価（PDCAサイクル）を踏まえて、経営資源を有効に配分し、経営的視点に立って多種多様な課題に対応すること。

③ 『宇城広域連合広域計画』と連動した予算配分の優先化・重点化

『宇城広域連合広域計画』における「実施計画」に登載された事業へ優先的に予算の重点配分を行うものとし、『中長期財政計画（「施設・設備投資計画」を含む。）』を考慮したうえで、事業の見直しと資源配分を徹底すること。

特に新規事業については、既存事業との関連・後年度負担・緊急性・必要性・有効性等について十分精査のうえ、類似事業との統合や既存事業の休止による財源組替えを必ず検討すること。

④ 事務事業の見直しと簡素化・効率化

事務事業を処理するにあたっては、最少の経費で最大の効果をあげることが必要であり、現下の財政状況や働き方改革の観点に加え、感染症による環境の変化などに対応するため、既存の事務事業の徹底した見直しが必要である。

このため、既成の概念を捨てた新たな発想（ゼロベース）の下に一層の見直しを行うこととし、事業目的の達成度合、事業効果、経費節約方法等について検討を加え、事業内容や事務量の見直し、他部署や関係市町との連携を一層進めることにより、事務事業の抜本的な再構築を図るものとする。長年の体質の中で「事業をすること」が目的化している傾向があるため、本来の目的を明らかにし、必要な事業であるかを再度検証すること。

⑤ ファシリティマネジメントの推進

複式簿記や発生主義に基づき本連合が作成している財務書類（貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書）において、目的別・施設別に分析評価した結果を踏まえ、維持管理経費の縮減のほか、廃止・統合・多目的化といった方向性についても、関係市町と連携を図りながら検討を行うこと。

また、老朽化が進む連合保有の施設については、令和３年３月に策定した個別施設計画（施設ごとの維持管理・修繕・更新等に係る取組方針を示したもの）を踏まえ、各施設の管理内容を整理し、必要経費を精査すること。

⑤ マイナスシーリングの実施

令和５年度は、関係市町における歳入の減収要因（感染症による地域経済への影響など）と歳出の増加要因（扶助費や普通建設事業費、感染症対策経費など）、連合決算の経年分析による不用額の状況等を踏まえ、別途総務課長通知によりマイナスシーリング方式を採用するため、引き続き経費節減に取り組むこと。

各課においては、住民満足度の更なる向上を目指し、限られた財源で最大の効果を生み出すよう、予算見積上限額内において、主体的にスクラップ・アンド・ビルドを行い、メリハリのある予算を組み立てるものとする。

最後に

令和５年度は、本連合の最上位計画である『宇城広域連合広域計画』に基づく予算編成の１年目となる。環境の変化に適切に対応し、時には事業の実施方法を見直しながら、本計画に掲げられた施策を着実に推進していく必要がある。そのために、関係市町との協働関係の構築はもとより、局・課横断的な連携を強化し、効率的で実効性の高い行財政運営の実現に向けて、職員一丸となって取り組まなければならない。

2 予算規模

地方自治法第 209 条によると、自治体は 1 つの会計（一般会計）で全ての収支を経理するのが原則ですが、特定の事業を行う場合や特定の収入に基づいた事業を行う場合、その事業に係る経理を他の会計と区別する必要があるため、法律や条例に基づいて特別会計を設置することができます。

本連合においては、以下の 2 つの会計を設けて管理しています。



[会計別予算規模]

(単位：千円、%)

会計区分	令和 5 年度	令和 4 年度	増減額	増減率
一般会計	7,506,804	7,443,820	62,984	0.8
宇城ふるさと市町村圏 基金特別会計	4,469	4,469	0	0.0
合 計	7,511,273	7,448,289	62,984	0.8

3 一般会計の予算

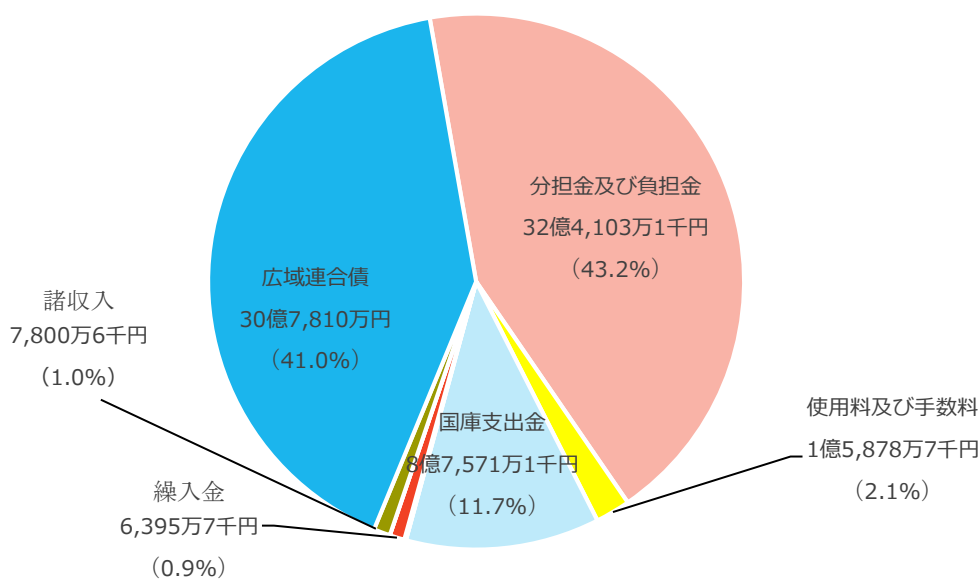
(1) 歳入

令和5年度一般会計歳入予算の状況を見てみると、令和6年4月に供用開始を予定しているエネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業に係る財源の影響により国庫支出金が大幅な減額となる一方で、新たな借金である「広域連合債」及び関係市町負担金（分担金及び負担金）が増額となっています。

[一般会計歳入予算]

(単位：千円、%)

款	令和5年度		令和4年度		比較 (A)-(B)
	当初予算(A)	構成比	当初予算(A)	構成比	
1 分担金及び負担金	3,241,031	43.2	2,823,322	37.9	417,709
2 使用料及び手数料	158,787	2.1	156,060	2.1	2,727
3 国庫支出金	875,711	11.7	1,635,993	22.0	△ 760,282
4 県支出金	189	0.0	193	0.0	△ 4
5 財産収入	11,022	0.1	10,025	0.1	997
6 繰入金	63,957	0.9	110,400	1.5	△ 46,443
7 繰越金	1	0.0	1	0.0	0
8 諸収入	78,006	1.0	55,226	0.7	22,780
9 広域連合債	3,078,100	41.0	2,652,600	35.6	425,500
歳入合計	7,506,804	100.0	7,443,820	100.0	62,984



[関係市町等負担金]

(単位：千円)

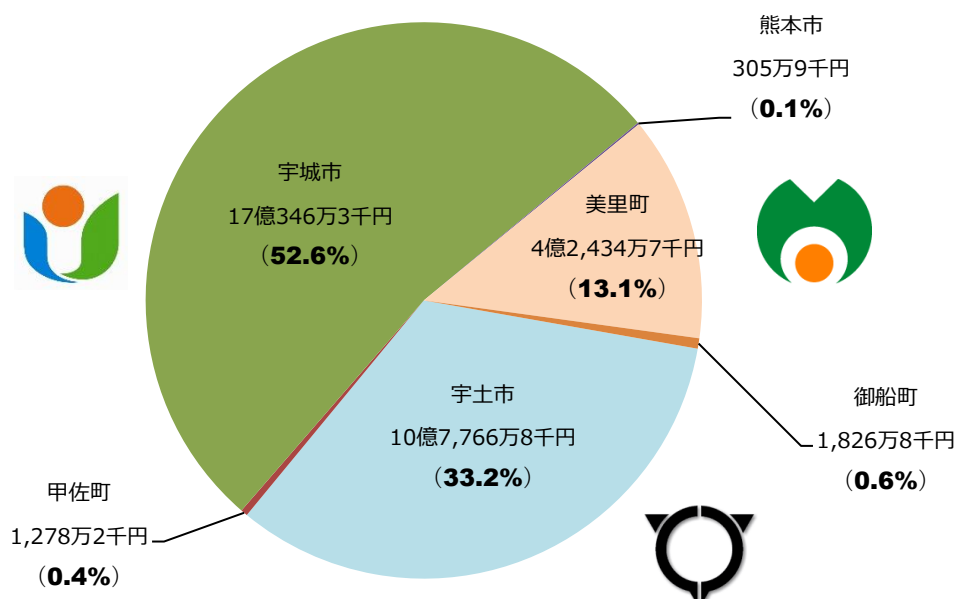
区 分	総 務 費 負 担 金	民 生 費 負 担 金	衛 生 費 負 担 金	消 防 費 負 担 金	合 計
宇 土 市	36,093	12,687	533,704	495,184	1,077,668
宇 城 市	59,784	19,662	763,750	860,267	1,703,463
美 里 町	16,726	5,727	178,542	223,352	424,347
御船町甲佐町衛生施設組合			31,050		31,050
御 船 町			18,268		18,268
甲 佐 町			12,782		12,782
熊 本 市			3,059		3,059
西日本高速道路(株)				1,444	1,444
合 計	112,603	38,076	1,510,105	1,580,247	3,241,031



関係市町負担金の割合は？・・『宇城広域連合規約』に規定されています。

[負担割合の一例]

区 分	関係市町	負担割合
し尿処理施設管理運営等経費	宇土市・宇城市・美里町	均等割 10%、搬入量割 90%
消防に関する経費	宇土市・宇城市・美里町	関係市町の普通交付税に係る基準 財政需要額のうち、常備消防費に 相当する額を基準として算出



(2) 歳出

歳出はその用途により「目的別」と「性質別」に分けることができます。

① 目的別経費

「どのような目的に使うか」という分類です

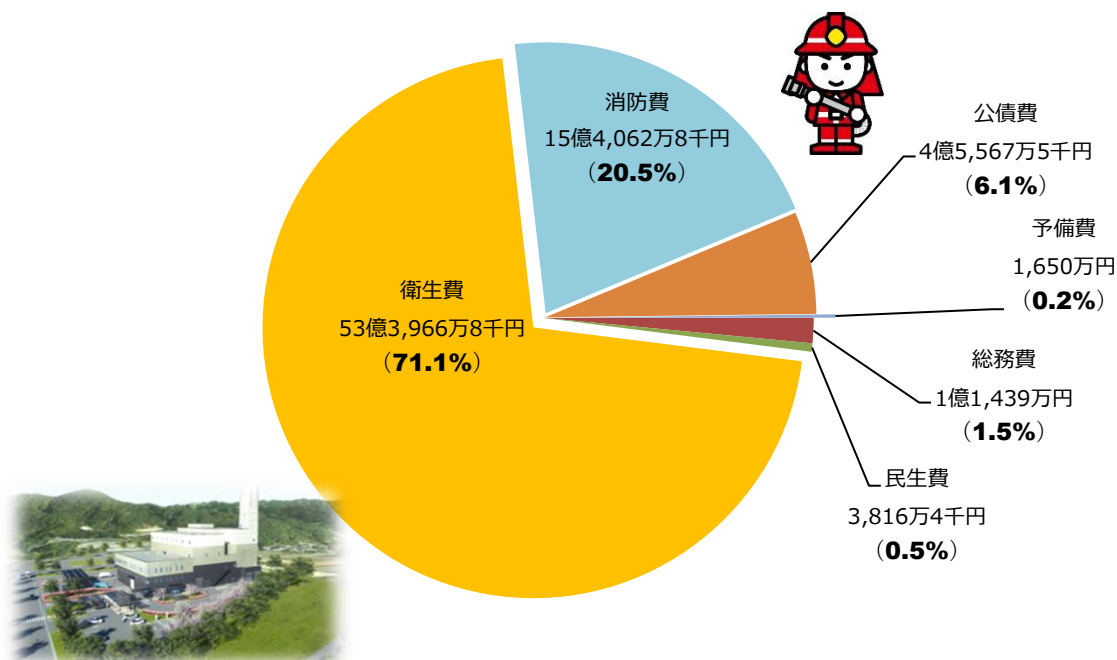
(例) ごみ処理など清掃関係に使用する経費は「衛生費」、消防関係に使用する経費は「消防費」など

構成割合を見てみると、エネルギー回収型廃棄物処理施設の整備事業や火葬場管理事業などに係る「衛生費」が71.1%と最も高く、次いで三角分署の移転改築や美里分署の消防ポンプ自動車更新など災害に強い安心・安全なまちづくりを推進する「消防費」が20.5%となっています。

[一般会計当初歳出予算・目的別]

(単位：千円、%)

款	令和5年度		令和4年度		比較 (A)-(B)
	当初予算(A)	構成比	当初予算(A)	構成比	
1 議会費	1,779	0.0	1,770	0.0	9
2 総務費	114,390	1.5	120,257	1.6	△ 5,867
3 民生費	38,164	0.5	35,733	0.5	2,431
4 衛生費	5,339,668	71.1	5,369,772	72.2	△ 30,104
5 消防費	1,540,628	20.5	1,466,663	19.7	73,965
6 公債費	455,675	6.1	433,125	5.8	22,550
7 予備費	16,500	0.2	16,500	0.2	0
歳出合計	7,506,804	100.0	7,443,820	100.0	62,984



② 性質別経費

「どのような性質の経費なのか」という分類です

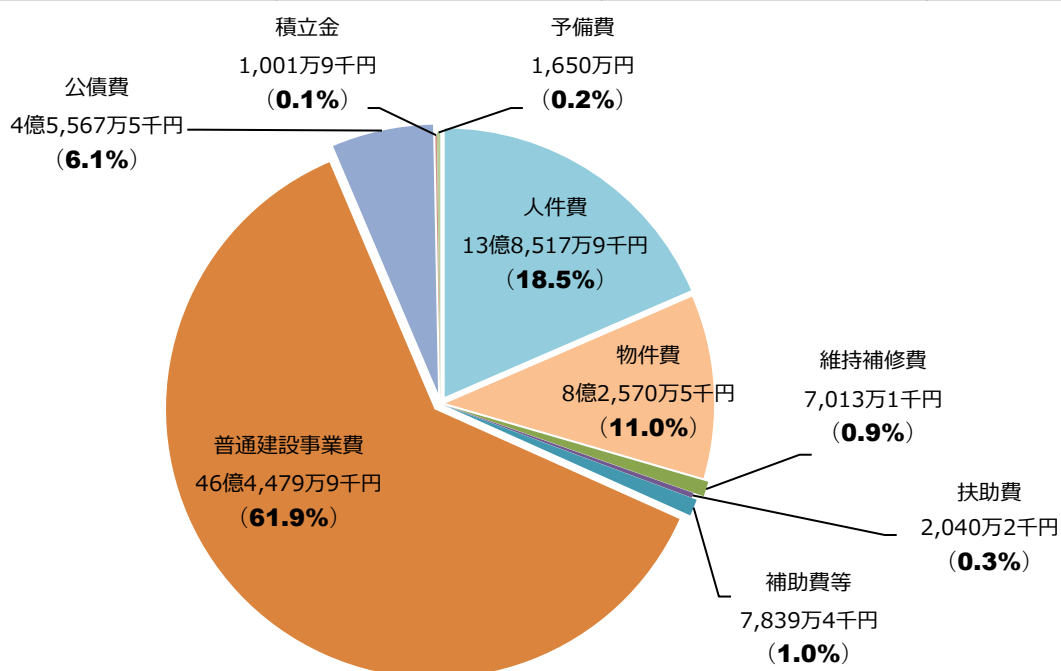
(例) 職員給与などは「人件費」、物品やコピー用紙などの購入費は「物件費」、広域連合債（借金）の返済に要する経費は「公債費」など

構成割合を見てみると、「普通建設事業費」が61.9%と最も高いものの、昨年度に比べて減少しています。次いで、連合職員の給料や手当などの人件費が18.5%となっています。公債費が全体に占める割合は増加し、対前年度2,225万円の増額となっています。

[一般会計当初歳出予算・性質別]

(単位：千円、%)

区分	令和5年度		令和4年度		比較 (A)-(B)
	当初予算(A)	構成比	当初予算(A)	構成比	
1 人件費	1,385,179	18.5	1,432,276	19.2	△ 47,097
2 物件費	825,705	11.0	618,146	8.3	207,559
3 維持補修費	70,131	0.9	85,161	1.2	△ 15,030
4 扶助費	20,402	0.3	19,610	0.3	792
5 補助費等	78,394	1.0	83,291	1.1	△ 4,897
6 普通建設事業費	4,644,799	61.9	4,745,690	63.8	△ 100,891
7 公債費	455,675	6.1	433,125	5.8	22,550
8 積立金	10,019	0.1	10,021	0.1	△ 2
9 予備費	16,500	0.2	16,500	0.2	0
歳出合計	7,506,804	100.0	7,443,820	100.0	62,984



4 宇城ふるさと市町村圏基金特別会計の予算

(1) 歳入

歳入予算の状況を見てみると、財源の主なものは、ふるさと市町村圏基金の運用益による「財産収入」445万8千円です。

[宇城ふるさと市町村圏基金特別会計歳入予算]

(単位：千円、%)

款	令和5年度		令和4年度		比較 (A) - (B)
	当初予算(A)	構成比	当初予算(A)	構成比	
1 財産収入	4,458	99.8	4,458	99.8	0
2 繰越金	1	0.0	1	0.0	0
3 諸収入	10	0.2	10	0.2	0
歳入合計	4,469	100.0	4,469	100.0	0

(2) 歳出

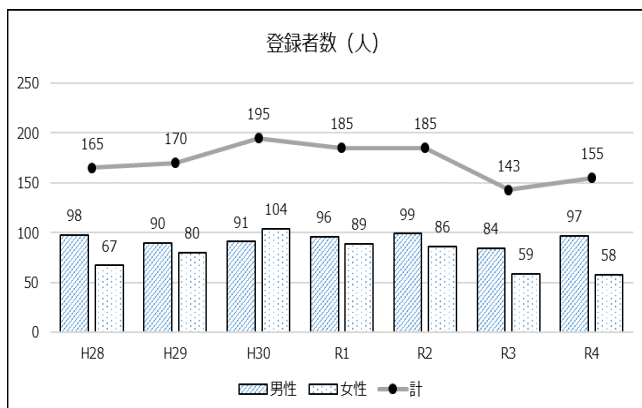
歳出予算の「総務費」においては、例年実施している結婚活動支援事業のみとなっています。

[宇城ふるさと市町村圏基金特別会計歳出予算]

(単位：千円、%)

款	令和5年度		令和4年度		比較 (A) - (B)
	当初予算(A)	構成比	当初予算(A)	構成比	
1 総務費	4,469	100.0	4,469	100.0	0
歳出合計	4,469	100.0	4,469	100.0	0

婚活登録者数(人)



結婚活動支援事業

宇城広域連合結婚活動支援センターでは、現在登録者を募集しています。利用料等(登録料、相談料、お見合い料)はかかりません。

令和4年度より、コロナ禍で減少した出会いの場を増やそうということで、毎月1回ミニイベントを開催します。日時は、毎月第2日曜日13時～15時の2時間、モルックやトランプゲームなどで交流していただけます。センターに登録している方であれば、誰でも参加OK!!

センターへの登録条件など詳しくは、宇城広域連合HPをご覧ください。

イベント情報

7月31日(日)に、第23回UKIうきコンを開催する予定です。

場 所: 松橋東防災拠点センター

参加条件: 25歳～43歳(イベント当日時点)

※宇城広域連合結婚活動支援センターの会員であること

参加費: 1,500円 募集人数: 男女各12名

申込締切: 7月14日正午まで

申込方法: イベント参加申込フォーム

開所情報

開所日時: 毎週日曜日(10時～17時)

毎週水曜日(13時～19時)

※新型コロナウイルス感染症対策に係る熊本県リスクレベル次第では開所します。詳しくはHPをご覧ください。

成婚実績
33組

Ⅱ 令和4年度下半期の補正予算状況

1 一般会計及び宇城ふるさと市町村圏基金特別会計の補正状況

一般会計

・・・

3回補正 計43億1,256万3千円の増額

補正第2号（+161,591千円）

- 前年度繰越金の確定に伴う関係市町決算剰余返還金の計上
- 環境再生センター管理事業に係る槽内清掃運搬業務委託料等の増額

補正第3号（+50,117千円）

- 電気料（龍燈苑火葬場他4施設）の増額
- エネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業に係る汚染土壌の除去・処分業務委託料の増額

補正第4号（+4,100,855千円）

- 国補正予算に伴うエネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業費の増額

宇城ふるさと市町村圏基金特別会計

・・・

1回補正 計155万5千円の増額

補正第1号（+1,555千円）

- 前年度繰越金の計上
- 地域少子化対策重点推進交付金の計上
- 結婚活動支援センターロゴマーク等作成業務委託料の計上
- 結婚活動支援センター感染症対策等備品の購入
- 宇城ふるさと市町村圏基金利子積立金の増額

[一般会計及び特別会計に係る下半期の補正状況]

(単位：千円)

会計区分	当初予算	9月末 予算現額	10月補正 (一般＝第2号) (特別＝第1号)	12月補正 (一般＝第3号)	3月補正 (一般＝第4号)	最終予算 予算現額
一般会計	7,443,820	2,910,239	161,591	50,117	4,100,855	7,222,802
宇城ふるさと市町村圏 基金特別会計	4,469	4,469	1,555	0	0	6,024
合 計	7,448,289	2,914,708	163,146	50,117	4,100,855	7,228,826

Ⅲ 令和4年度下半期の予算執行状況

1 一般会計の予算執行状況

(1) 歳入 収入率 = **42.4%** (対前年度比 + 3.8 ポイント)

歳入予算科目のうち「国庫支出金」や「広域連合債」は、3月末における収入率が毎年度低い状況となっています。これは、建設事業の実績報告を年度末に実施することが多く、4月から5月の間に収入されるからです。

(単位：千円、%)

款	予算現額 (A)	9月30日現在 収入済額	3月31日現在 収入済額(B)	差引額 (A) - (B)	収入率 (B) / (A)
1 分担金及び負担金	2,892,227	1,397,996	2,475,459	416,768	85.6
2 使用料及び手数料	156,060	80,837	160,615	△ 4,555	102.9
3 国庫支出金	845,903	0	0	845,903	0.0
4 県支出金	193	0	196	△ 3	101.6
5 財産収入	15,025	6,248	12,925	2,100	86.0
6 繰入金	106,400	21,120	96,684	9,716	90.9
7 繰越金	169,868	169,868	169,868	0	100.0
8 諸収入	55,226	9,232	33,918	21,308	61.4
9 広域連合債	2,981,900	0	112,100	2,869,800	3.8
歳入合計	7,222,802	1,685,301	3,061,765	4,161,037	42.4

※ 上記の金額には、繰越明許費など前年度からの繰越予算は含まれておりません。

(2) 歳出 執行率 = **37.3%** (対前年度比 + 3.0 ポイント)

歳出予算科目のうちエネルギー回収型廃棄物処理施設整備など多額の普通建設事業費を予算化している「衛生費」の執行率が他の科目に比べ低い数値となっています。なお、年度内に事業が完了しない予算残額については、令和5年度への繰越を予定しています。

(単位：千円、%)

款	予算現額 (A)	9月30日現在 支出済額	3月31日現在 支出済額(B)	予算残額 (A) - (B)	執行率 (B) / (A)
1 議会費	1,770	82	246	1,524	13.9
2 総務費	282,997	27,756	226,233	56,764	79.9
3 民生費	35,733	10,792	23,237	12,496	65.0
4 衛生費	4,994,647	311,114	675,791	4,318,856	13.5
5 消防費	1,457,946	605,375	1,334,882	123,064	91.6
6 公債費	435,612	213,669	434,512	1,100	99.7
7 予備費	14,097	0	0	14,097	0.0
歳出合計	7,222,802	1,168,788	2,694,901	4,527,901	37.3

※ 上記の金額には、繰越明許費など前年度からの繰越予算は含まれておりません。

(3) 歳出 [繰越分]

執行率 = **28.3%**

令和3年度の繰越事業に係る主な執行率の内訳は、「エネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業＝19.9%（支出済額 903,212 千円／予算現額 4,533,581 千円）」、「消防本部・北消防署耐震改築整備事業＝93.3%（支出済額 84,680 千円／予算現額 90,740 千円）」、「高機能消防指令設備整備事業＝99.9%（支出済額 449,761 千円／予算現額 449,762 千円）」となっています。

(単位：千円、%)

款	予算現額 (A)	9月30日現在 支出済額	3月31日現在 支出済額(B)	予算残額 (A) - (B)	執行率 (B) / (A)
4 衛生費	4,533,581	903,212	903,212	3,630,369	19.9
5 消防費	540,502	84,680	534,441	6,061	98.9
歳出合計	5,074,083	987,892	1,437,653	3,636,430	28.3

2 宇城ふるさと市町村圏基金特別会計の予算執行状況

(1) 歳入

収入率 = **91.7%** (対前年度比△8.0ポイント)

歳入予算については、予算現額のほぼ全額が収入済みとなっています。主な歳入は、平成30年度に開始した債券運用（国債・政府保証債など）に係る利子収入です。

款	予算現額 (A)	9月30日現在 収入済額	3月31日現在 収入済額(B)	差引額 (A) - (B)	収入率 (B) / (A)
1 財産収入	4,458	2,229	4,459	△1	100.0
2 繰越金	1,067	1,067	1,067	0	100.0
3 諸収入	10	0	0	10	0.0
4 県支出金	489	0	0	489	0.0
歳入合計	6,024	3,296	5,526	498	91.7

(2) 歳出

執行率 = **61.7%** (対前年度比+23.0ポイント)

歳出予算については、結婚活動支援事業に係る相談委員の謝意金（報酬相当分）や広告料を4月に支払うため、最終的には75%程度まで伸びる見込みです。

(単位：千円、%)

款	予算現額 (A)	9月30日現在 支出済額	3月31日現在 支出済額(B)	予算残額 (A) - (B)	執行率 (B) / (A)
1 総務費	6,024	606	3,714	2,310	61.7
歳出合計	6,024	606	3,714	2,310	61.7

一般会計及び特別会計の収入率・執行率について

令和5年3月31日までに収支原因が発生したものについては、4月1日から5月31日まで出納整理期間が設けられており、令和4年度分の出納事務を行うことができます。よって、収入率と執行率は5月末まで変更することになります。

IV 広域連合債及び一時借入金の状況

1 広域連合債の状況

令和4年度末の広域連合債残高は85億4,395万円となり、前年度末に比べ29億9,478万円の大幅な増額となる見込みです。その主な要因は、高機能消防指令設備整備事業や消防ポンプ自動車購入事業に伴う「消防債」の増加（対前年度＋3億4,514万8千円）、エネルギー回収型廃棄物処理施設整備に伴う「衛生債」の増加（対前年度＋26億5,038万5千円）です。また、資金の借入先は、財政融資資金が66.6%と最も高くなっています。

令和5年度までエネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業（衛生債）の大型工事が続き、償還額を上回る新たな借入れを行うこととなるため、広域連合債残高はさらに増加する見込みです。

今後も、国の財政措置が有利な地方債を選択するなど、関係市町の将来負担が大きくならないような計画的な借入れが重要となります。

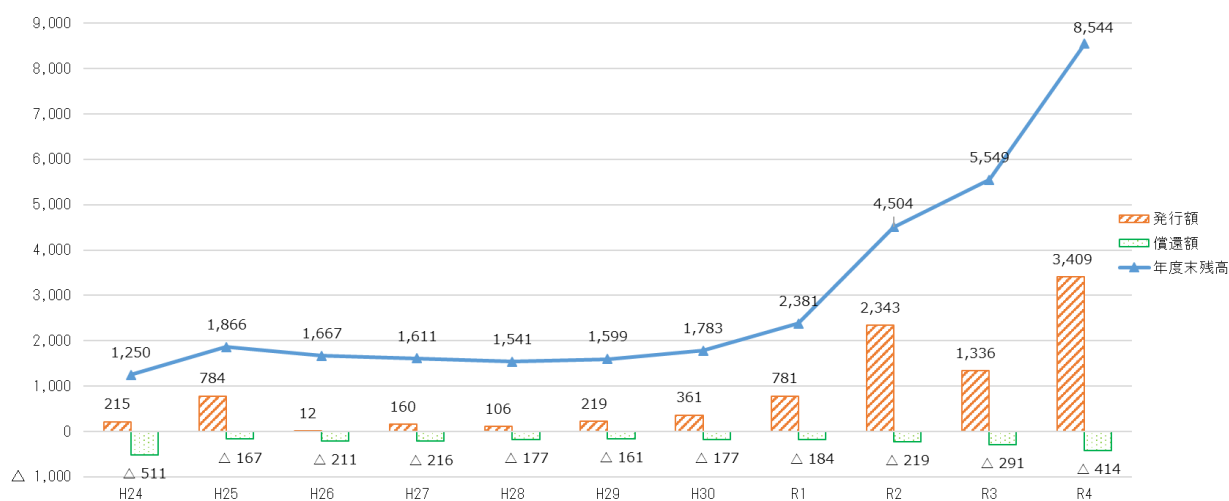
【目的別広域連合債現在高】

（単位：千円、％）

区 分	令和3年度末 現在高(A)	令和4年度中増減〔見込〕		令和4年度末 現在高〔見込〕 (A) + (B) - (C)	構成比
		借入額(B)	償還元金(C)		
1 総 務 債	378	0	378	0	0.0
2 民 生 債	0	0	0	0	0.0
3 衛 生 債	3,340,767	2,902,600	252,215	5,991,152	70.1
龍 燈 苑	166,893	0	41,195	125,698	1.5
寂 静 の 里	0	0	0	0	0.0
宇 土 清 掃 セ ン タ ー	110,404	0	26,410	83,994	1.0
宇 城 ク リ ー ン セ ン タ ー	373,316	2,902,600	23,371	3,252,545	38.0
環 境 再 生 セ ン タ ー	2,690,154	0	161,239	2,528,915	29.6
4 消 防 債	2,207,650	506,000	160,852	2,552,798	29.9
5 災 害 復 旧 債	375	0	375	0	0.0
事 務 局	0	0	0	0	0.0
龍 燈 苑	0	0	0	0	0.0
寂 静 の 里	0	0	0	0	0.0
宇 土 清 掃 セ ン タ ー	375	0	375	0	0.0
宇 城 ク リ ー ン セ ン タ ー	0	0	0	0	0.0
環 境 再 生 セ ン タ ー	0	0	0	0	0.0
常 備 消 防	0	0	0	0	0.0
合 計	5,549,170	3,408,600	413,820	8,543,950	100.0

[広域連合債の発行額及び償還額の状況]

(百万円)



消防本部・北消防署新庁舎



エネルギー回収型廃棄物処理施設整備工事

2 一時借入金の状況



一時借入金とは？・・・歳計現金に不足を生じた場合に、その期間の資金繰りのために金融機関などから一時的にお金を借り入れること。

※ 一時借入金の最高額（限度額）は、その年度の予算によって定める

一般会計において、令和5年4月末残高の5億円については、同年5月中に全額を返済する予定です。

会計区分	最高額 (限度額) ※	令和3年度	令和4年度				令和5年 4月末残高
		前年度末残高 (R4.3.31)	令和4年 4月末残高	令和4年5月以降の累計		年度末残高 (R5.3.31)	
				借入額	償還額		
一般会計	2,500	400	400	1,300	1,200	500	500

※ 一時借入における最高額は、借入現在高の上限額であり、当該年度中の数回にわたる借入額の累計ではありません。

V 宇城広域連合財産の状況

1 土地、建物及び重要物品

[土 地]

(単位：㎡)

区 分	令和4年9月30日現在	令和5年3月31日現在	増 減	備 考
【 行 政 財 産 】	148,459.63	148,459.63	0.00	
連 合 事 務 局	1,646.03	1,646.03	0.00	
龍 燈 苑 火 葬 場	15,794.00	15,794.00	0.00	
寂 静 の 里 火 葬 場	4,403.00	4,403.00	0.00	
宇 土 清 掃 セ ン タ ー	32,449.95	32,449.95	0.00	
ご み 焼 却 施 設	22,662.95	22,662.95	0.00	
最 終 処 分 場	9,787.00	9,787.00	0.00	
宇 城 ク リ ー ン セ ン タ ー	75,256.65	75,256.65	0.00	
ご み 処 理 施 設	73,353.65	73,353.65	0.00	
栗 崎 最 終 処 分 場	1,903.00	1,903.00	0.00	
し 尿 処 理 場	9,656.00	9,656.00	0.00	
消 防	9,254.00	9,254.00	0.00	
本 部 ・ 北 消 防 署	9,254.00	9,254.00	0.00	
【 普 通 財 産 】	12,402.22	12,402.22	0.00	
寂 静 の 里 火 葬 場	12,402.22	12,402.22	0.00	
寂 静 の 里 火 葬 場	3,930.22	3,930.22	0.00	
旧 ご み 処 理 場 跡 地	8,472.00	8,472.00	0.00	
合 計	160,861.85	160,861.85	0.00	

[建 物]

(単位：㎡)

区 分	令和4年9月30日現在	令和5年3月31日現在	増 減	備 考
【 行 政 財 産 】	29,590.60	29,590.60	0.00	
連 合 事 務 局	580.85	580.85	0.00	
本 庁 舎	549.27	549.27	0.00	
倉 庫 ・ 物 置	31.58	31.58	0.00	
龍 燈 苑 火 葬 場	2,224.43	2,224.43	0.00	
寂 静 の 里 火 葬 場	1,226.95	1,226.95	0.00	
火 葬 場	1,172.77	1,172.77	0.00	
ポ ン プ 室	6.18	6.18	0.00	
車 庫	48.00	48.00	0.00	
宇 土 清 掃 セ ン タ ー	3,967.69	3,967.69	0.00	
ご み 焼 却 施 設	3,952.89	3,952.89	0.00	
最 終 処 分 場	14.80	14.80	0.00	
宇 城 ク リ ー ン セ ン タ ー	9,515.73	9,515.73	0.00	
ご み 処 理 施 設	4,844.63	4,844.63	0.00	
リ サ イ ク ル プ ラ ザ	4,445.13	4,445.13	0.00	
最 終 処 分 場	225.97	225.97	0.00	
し 尿 処 理 場	3,371.56	3,371.56	0.00	
消 防	8,703.39	8,703.39	0.00	
新 本 庁 舎 (本部・北消防署)	3,476.02	3,476.02	0.00	
通 信 指 令 棟	296.11	296.11	0.00	
美 里 分 署	260.25	260.25	0.00	
三 角 分 署	299.79	299.79	0.00	
豊 野 分 署	315.50	315.50	0.00	
網 田 分 署	363.50	363.50	0.00	
小 川 分 署	368.65	368.65	0.00	
南 消 防 署	2,010.11	2,010.11	0.00	
本 庁 舎 (本部・北消防署)	1,313.46	1,313.46	0.00	
【 普 通 財 産 】	33.12	33.12	0.00	
寂 静 の 里 火 葬 場	33.12	33.12	0.00	
事 務 所	33.12	33.12	0.00	
合 計	29,623.72	29,623.72	0.00	

[物 品]

(単位：台、個)

区 分	令和4年9月30日現在	令和5年3月31日現在	増 減
連 合 事 務 局	4	4	0
普通乗用自動車	1	1	0
軽乗用自動車	1	1	0
軽貨物自動車	1	1	0
ローパーテーション	1	1	0
龍 燈 苑	0	0	0
寂 静 の 里 火 葬 場	1	1	0
軽貨物自動車	1	1	0
宇 土 清 掃 セ ン タ ー	5	5	0
エアラインマスク	1	1	0
剪定くず等破碎機	1	1	0
油圧ショベル	1	1	0
カラープリンタ	1	1	0
フロンガス回収機	1	1	0
宇 城 ク リ ー ン セ ン タ ー	13	13	0
複合機	1	1	0
普通貨物自動車	1	1	0
ダンプトラック	2	2	0
フォークリフト	2	2	0
油圧ショベル	1	1	0
タイヤショベル	2	2	0
乗用草刈機	1	1	0
真空管処理機	1	1	0
エアーシャワー	1	1	0
パキュームクリーナー	1	1	0
環 境 再 生 セ ン タ ー	3	3	0
普通乗用自動車	1	1	0
ダンプトラック	2	2	0

[物 品]

(単位：台、個)

区 分	令和4年9月30日現在	令和5年3月31日現在	増 減
消 防	74	73	△ 1
はしご付消防ポンプ自動車	1	1	0
救助工作車	2	2	0
化学消防ポンプ自動車	1	1	0
水槽付消防ポンプ自動車	1	1	0
消防ポンプ自動車	8	8	0
資機材搬送車	3	3	0
高規格救急自動車	10	10	0
査察車	2	2	0
指揮車	1	1	0
指令車	2	2	0
普通乗用自動車	3	3	0
軽貨物自動車	4	4	0
冷暖房器具類	3	3	0
事務機器類	3	3	0
警防資機材類	30	29	△ 1
合 計	100	99	△ 1

2 基 金

(単位：千円)

区 分	令和4年9月30日現在	令和5年3月31日現在	増 減
【 一 般 会 計 】	805,612	740,063	△ 65,549
龍 燈 苑 火 葬 施 設 整 備 基 金	18,725	5,588	△ 13,137
寂 静 の 里 火 葬 施 設 整 備 基 金	31,734	27,982	△ 3,752
寂 静 の 里 火 葬 施 設 整 備 基 金 (御 船 町 甲 佐 町 衛 生 施 設 組 合 含 む)	40,024	17,348	△ 22,676
宇 土 清 掃 セ ン タ ー 施 設 整 備 基 金	20,563	20,563	0
宇 城 ク リ ー ン セ ン タ ー 施 設 整 備 基 金	150,278	124,283	△ 25,995
宇 城 ク リ ー ン セ ン タ ー 施 設 建 設 等 基 金	503,883	503,893	10
環 境 再 生 セ ン タ ー 施 設 整 備 基 金	5,516	5,516	0
消 防 施 設 等 整 備 基 金	34,889	34,890	1
【 特 別 会 計 】	1,020,654	1,021,281	627
宇 城 ふ る さ と 市 町 村 圏 基 金	1,020,654	1,021,281	627
合 計	1,826,266	1,761,344	△ 64,922

○ 発 行 : 宇城広域連合 総務課 企画財政係

○ 住 所 : 〒869-0532

熊本県宇城市松橋町久具 396 番地 2

○ T E L : 0964-32-4144